

## 【リリース詳細】

### ■コンセプトと見どころ

---

昨年実施した「ななつぼし」の7%増量キャンペーンが、多くの皆さまから大変ご好評をいただいたことから、今年はさらなる北海道米の需要拡大に向けて、北海道を代表するプレミアム米「ゆめぴりか」も、5月より増量キャンペーンを実施することが決定しました。

このニュースを、インパクトのある形で全国の方に知っていただくため、マツコ・デラックスさんに加えて、新たに新庄剛志さんを起用したテレビCMを企画。今シーズンより、プロ野球・北海道日本ハムファイターズの監督となった新庄さんとマツコさんのBIGな初競演によって、北海道をより一層盛り上げていきます。

マツコさんが踊りながら「増量！」をアピールしているところへ、突然新庄さんが割り込んでくる場面や、臨場感たっぷりのアニメーション版のマツコさんと新庄さんがおそろいのダンスを披露するシーンなど、実写もアニメーションも見どころ満載の新CMにご注目ください。

### ■撮影エピソード

---

新庄さんの撮影は3月上旬、札幌市内のスタジオで行われました。監督就任会見時をほうふつとさせる上下ワインレッドのスーツに身を包み、さっそうと現場入りした新庄さん。出迎えたスタッフの皆さんから一斉に起こった拍手に、新庄さんが両手を上げて応えると、スタジオは瞬く間に明るい空気に包まれました。

本番前、監督から「今や北海道の顔となった新庄さんにひと言、言っていただきたい」という指示を受けた新庄さんは、早速カメラ前にスタンバイし、「ちょっと待った！」というセリフを収録。ファーストテイクから元気いっぱいの声が響き渡ると、監督も「素晴らしい！」「いいですねえ」と絶賛の声を上げていました。

「ななつぼし」同様、「ゆめぴりか」も7%増量することを、新庄さんがカメラ目線で呼びかけるシーン。ここでは5本の指を広げた左手に右手の指を2本だけ重ねて、「7」%をアピールしました。その際、通常なら右手の2本は人差し指と中指を立てるところ、新庄さんは親指と小指を立て、それ以外の3本を折り曲げる独特のポーズを披露。遊び心あふれる新庄さんらしいアドリブに、現場のあちこちから楽しそうな笑い声が聞こえてくると、新庄さんも満面の笑みを浮かべていました。

### ■新庄剛志さんインタビュー

---

——北海道米の新CMに起用されたお気持ちは？

お米とBIGBOSSって合うのかなと思ってたんですけど、バッチリ合いましたね。

——新庄さんは「パン派」ですか？ それとも「ごはん派」ですか？

バリバリ「パン派」です(笑)。でも、これをきっかけに、「ごはん派」に変わりそうな気がします。いや、変わりますね。こういうふうに起用されることで変わることで、僕はすごくあるのでうれしいです。お米に関して特にこだわ

りはなかったんですけど、これをきっかけにこだわりたいなと思います。

——それでは、お米の品種などもあまり知らなかったのでしょうか？

まったく知らなかったです。でも、2006 年にファイターズのユニフォームを脱いでから、僕は海外に住んでいたの  
で、日本に帰ってきてから、お米のおいしさに感動しています。

——実は今回の CM で紹介する「ななつぼし」「ゆめぴりか」は、新庄さんが北海道にいた頃はまだ存在しなかつ  
たお米なんです。

そうなんです。僕を起用していただき、ありがとうございます！ 撮影でお米をいただいたので、楽しみで仕方  
ありません。さっそく食べてみます。ちなみに、ファイターズの食堂では使われていないんですか？

——使っています。

なるほど。じゃあ俺、昨日も食べたわ。めちゃくちゃおいしかった。やったー。最高ですね。

——そんな中、最近お米を食べる方が減っているという事実があります。

そういう僕、得意だから。僕が味わって、宣伝して、そのおいしさを伝えたら、また復活しますよ。

——お米を食べてもらうために、何かアイデアはありますか？

僕のサインボールを付けて売ったら、お子さんたちも「これ欲しい」ってなると思います。サインを現役時代と変え  
て、スタンプ型にしたんですよ。スタンプでボンボン押したら、たくさんの方に配れるから。書くのは限界があっ  
て、1 日 2 万とか書けないけど、スタンプなら 3 万とか押せますよね。そういうプレゼントも面白いかなって。僕の肩が  
壊れてもいいので、試合中もベンチで押し続けますよ。選手にサインを出しながら。

——マツコ・デラックスさんとの共演について。

監督になる前、マツコさんの番組に出させてもらったのが初めての共演なんですよ。マツコさんは学年が一つ下  
なんだけど、年齢は一緒で、僕のことを気に入ってくれて。その時、「どっか飲みに行こうよ」と誘われたんですけ  
ど、丁重にお断りさせていただきました(笑)。今は暇がないでしょう。だから、ファイターズが優勝したら騒ごうや、  
みたいなことは言いました。

——マツコさんと二人で食事するとしたら、何を召し上がりますか？

何を食べるかというより、マツコさんの脳みそ、どういう考えを持たれている方なのかなということにめちゃめちゃ  
興味がありますね。僕は学ぶことが好きで、マツコさんは素晴らしい考えを持っている方だと思うので、また会っ  
て話したいなとすごく思いました。でも、びっくりしましたよ。テレビで共演した後、今度は CM で共演って。だから、  
また何かありますよ。楽しみです。マツコさんにも球場に来てもらって、野球の面白さを味わってもらって、そこか  
らまたマツコさんの発信で、たくさんの方に野球を広めてもらえたら最高だなと思います。

——そういうことを常に考えていらっしゃるんですね。

考えます。僕は野球の OB じゃないんですよ。野球をはやらせるために、野球以外の方たちに広めてもらいたい

なというのは、野球界を変えるポイントの一つとして掲げています。

——ということは、今の発言の「野球」のところを「お米」に変えると、お米に興味がなかった、食べていなかった方にも、もっと食べてもらえるようになるかと？

12 球団の食堂に、北海道米を置きましょう(笑)。CM に起用してもらったからには、No.1 にならないと。今も No.1 だと思いますけど、さらに世界一のお米にしたいという気持ちになってしまうので、これからものすごく僕は動きますよ。僕からしたら、No.2 も No.100 も一緒なんですよ。1 位にならないといけない。でも今年、ファイターズで優勝は目指しません。

——今回の CM はどんな仕上がりになると思いますか？

CM が流れた時点で、僕の笑顔で明るい雰囲気になれると思うんですよ。さらにお米が食べたくなるような CM になると思います。マツコさんもすごく人気のある方だと伺ったので、僕も負けてられないなって。共演しているけど、ライバルみたいな感じですね。

——今までお米を食べていない方にも食べていただけるような CM になっていると。

もちろん。一回食べたら、おいしさが分かってもらえるお米なので、ぜひ皆さんも試食してみてください。

——おいしい北海道米は、何と一緒に食べるといいでしょうか？

「なめたけ」と「明太子マヨネーズ」。僕は小さい時からごはんにのせて食べていて、それはいまだに変わっていません。間違いなく、ごはんが進む。本当に進むんですよ、これ。おなかいっぱいになっちゃう。

——たしか、「パン派」なんですよ？

「パン派」でしたけど、「ごはん派」になると思います。今度、僕がアイデアを出したお米で、「BIGBOSS 米」というのが作れたらうれしいですね。バッグにポンと入れられるような小さいサイズの袋に入れて、球場で売りたいなと。そこに僕のサインも一緒に入れてとか、何か一緒にやれたら最高かなって、インタビューを受けている間に浮かびました。言霊って、かなうようになっているので、よろしくお願いします。

——それでは最後に BIGBOSS、今シーズン頑張ってください。

頑張りません。楽しめます。“たのしんじょう”で行きます！

## ■ストーリーボード

### 「2人の増量」篇（15秒）



♪ななつぼし



♪ゆめぴりかも



ななばーせんと♪



ななばーせんと♪



（マツコさん）  
「増量！」



（マツコさん、新庄さん）  
「増量！」



（新庄さん）  
ちょっと待った！  
ゆめぴりかも  
増量しますよ！



（新庄さん）  
「7%増量中！」



（マツコさん、新庄さん）  
「増量！」



（新庄さん）  
「俺が目印！」

## ■制作スタッフ

---

### 中島信也 (Shinya Nakajima)

1959 年福岡県生まれ大阪育ち。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。多くの CM の演出を手掛ける一方で東北新社社長を務める。’83「ナショナル換気扇」で演出デビュー。その後デジタル技術を駆使した娯楽性の高い CM で数々の賞を受賞。主な作品に日清カップヌードル「hungry?」(’93 カンヌ広告祭グランプリ)、サントリー「燃焼系アミノ式」(’03 ACC グランプリ)、サントリー「伊右衛門」(’05 ADC グランプリ)、資生堂「新しい私になって」(’07 ADC 会員賞)、NTT ドコモ「渡辺謙シリーズ」、NHK「てっぱん」オープニングなどがある。’10 劇場用映画「矢島美容室 THE MOVIE」を監督。

### <スタッフリスト>

・広告代理店	株式会社 電通北海道
・制作会社	株式会社 東北新社／株式会社 佐藤卓デザイン事務所
・クリエイティブディレクター	碓井雅博
・プランナー	寺岡真由美
・アートディレクター	佐藤 卓
・プロデューサー	井上みち子／樋口佳克
・演出	中島信也
・歌	山田タマル

### <本件に関するお問い合わせ先>

北海道米広報事務局(電通 PR コンサルティング内)

(TV 担当)箕輪 携帯 080-9545-8569／MAIL yoshiko.minowa@dentsuprc.co.jp

(新聞・雑誌・WEB 担当)浅井 携帯 080-3251-8042／MAIL yuta.asai@dentsuprc.co.jp